

**栗東市長選
(10月22日)**

栗東新駅ノ一の審判

知事選・市長選得票率(栗東市)

滋賀知事選挙	推進 国松善次 10,405 (49.1%)	凍結 嘉田由紀子 7,241 (34.2%)	中止 辻義則 3,529 (16.7%)
	栗東市長選挙	推進 国松正一 12,082 (41.4%)	凍結 田村隆光 11,053 (38.0%)



野洲市は負担をやめよ

新幹線新駅の推進か中止かが問われた栗東市長選挙で22日、現職、国松正一氏が再選されました。

この結果を受けて中止を訴えて奮闘した杉田さとし氏は「市民の声は中止が、はつきりした。新駅土地疑惑解明も必要。草の根でがんばっていきたい」と述べ、支持者と健闘をたたえあいました。

知事選で、推進の国松前知事を推していた田村氏は、立候補表明では「推進のための凍結」と言っていました。世論に押されて「中止を含む見直し」と政策を変えて選挙に臨みました。

当選した国松氏は得票率41.4%と4割にとどまり、知事選での推進派現職の得票率から7.6ポイント減。凍結の田村氏と中止の杉田氏の合計得票率は1万7045票(58.5%)と、国松氏の1.4倍。杉田氏は、知事選で中止を訴えた辻義則氏の得票を2463票増の1.7倍に、得票率も3.9ポイント伸ば

しました。この世論の変化が田村氏を「推進・凍結」から「中止を含む」へ動かしました。

選挙の結果に国松氏は23日、「市長選は住民投票ではない」と延べ、新駅推進が市民の審判とはいえませんでした。

嘉田由紀子知事は、市長選結果に「今後も凍結に向け、対話しつつ作業を進める」としています。26日には新駅の需要予測など再検証結果を県議会に示し、JR東海への10月分県負担金を支払うかどうかの判断をします。

野洲市では、これまで市長は、協定に基づき負担を行う方向を表明していますが、市民の意思からはかけ離れた考えです。栗東市長選挙の結果から見ても野洲市は負担をやめるべきです。



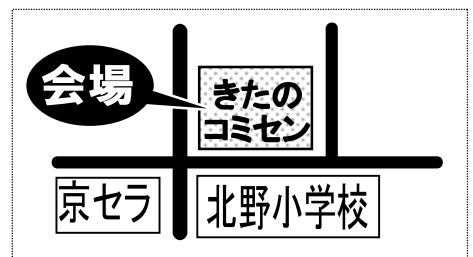
教育基本法をかえる狙いはなにか？ 憲法改悪との関係は？

みなさんと考える
学習討論会

●11月12日(日)午後1時30分 ●きたのコミュニティセンター

ピアノ演奏 徳田直美さん(ミルフィーユ・カルテット)
講演 野村 博さん(佛教大学名誉教授)

主催 野洲・九条の会(連絡先:山本啓治 電話587-0750)



やす民報

日本共産党野洲市委員会
2006年10月29日 101

暮らしのご相談、ご要望
お寄せください

市議員 小菅六雄 (電話) 589-4971 (FAX) 589-6184
(メール) shgdy177@ybb.ne.jp (HP) http://www.yasusigi.net/~kosuga/
市議員 野並享子 (電話) 587-0985 (FAX) 586-1102
(メール) no73kyo_ko@yahoo.co.jp (HP) http://www.yasusigi.net/~nonami/